

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和4年3月29日

事業所名 まさき園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○		指導員を配置して体制を組んだ	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		カイゼン活動を実施している	・全体会議が持てるように計画していく ・法人研修で取り組んだカイゼン研修を生かして今後も職員全体で取り組んでいく
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		評価の回答を踏まえてご指摘をいただいた点を職員で共有し、業務改善につなげている	保護者様の評価アンケートを集計して職員でご指摘の部分に対する改善策を検討していく
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		研修の資料を回覧し職員で共有できるようにしている	オンラインでの研修が増えたために、全体で研修に参加できる機会が増え、研修の内容に関して共通理解を得ることができている 学童期の支援を学ぶことが少ないので研修に参加出来るようにする
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		送迎時に保護者様より伺った情報などもアセスメントに取り込んでいる	非常勤職員にも細かく情報が共有できるように機会を設けていく
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		児童発達支援管理者研修で提供されたアセスメントツールを参考にして取り入れている	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			担当者が立案してチームで実施している
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			曜日によって利用される児童が変わるので、メンバーに合わせた取り組みを考えて実践していく
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			児童発達支援事業所も運営しているため長期休暇の活動時間は平日同様で運営している
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		障がいの特性もふまえながら個々にあった計画になるように考えている	計画を立てる時間が少ないのでスケジュールを組んで活動計画を立てていけるようにしていく
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		その日のリーダーが活動の役割を配置している	計画を立てる時間が少ないのでスケジュールを組んで活動計画を立てていけるようにする
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○		シフトが不規則なため支援終了後の打ち合わせは難しい。引継ぎノートなどを活用しながら連携していく	
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			土曜日営業日の午前中にミーティングの実施、支援会議を実施して、支援の検証・改善などを検討している	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			最長6か月に1回モニタリングを実施して支援会議にて計画書の見直しをしている
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○			季節を感じる取り組みや、家庭的な雰囲気忘れずに環境を設定している
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者や担当職員が参加している	相談事業所が計画していただき、連携会議に参加している。今後、事業所からも会議を提案していくはたらかかけをしていく
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		特別支援学校とは情報の共有ができています	送迎サービスを行っていないので、保護者より学校での様子等情報をいただいている。長期休暇中に担当の先生が放課後等デイサービスの様子を見学に来園していただくなど共有をしている
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			特定の利用児童に対して連携はとっているが、今後は幅広く研修を受けながら実践につなげていきます
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳とお迎え時に保護者に伝えあっている	連絡日誌や送迎時に保護者との情報の共有を大切にしながら、成長を分かち合えるようにしていく
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○				
保護者へ	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		利用前の見学時と契約時に説明している	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		相談の依頼があった場合は時間を設けてお伺いし、協力できるところを共有している	今後も、保護者様が話しやすい雰囲気づくりを心がけていく
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		契約時に苦情、相談窓口の連絡先をお伝えし、掲示板に張り出し周知している	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
の 説 明 責 任 等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			
	35	個人情報に十分注意している	○		万灯会個人情報保護規程に準じて取扱いしています。契約時に個人情報の取り扱いについて説明している	全体会議を通して、個人情報の守秘義務について確認していく
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		視覚的な伝達をしている	今後も相手の気持ちを汲み取った支援ができるように心がけていく
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		昨年同様、コロナ感染症防止のため開催はできなかった。次年度は対策を検討しながら実施できるようにしていく
非 常 時 等 の 対 応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		県よりオンラインで配信されている虐待防止研修を視聴し職員でフィードバックした	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		契約時に説明している。対象となる児童には個別支援計画に記載している	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		書面を作成後、口頭での報告と回覧し、周知している	